

「地域課題分野【河川】」（平成31年度採択）

事後評価結果

研究テーマ名	研究代表者	評価
大井川流砂系土砂管理に向けた支川土砂流入量評価方法の提案	名城大学 溝口敦子	B
<p data-bbox="204 533 395 566">&lt;研究概要&gt;</p> <p data-bbox="204 607 1390 680">大井川の総合土砂管理を踏まえると、粒度分布を考慮した土砂動態の把握が重要である。</p> <p data-bbox="204 685 1366 860">本研究は、大井川の支川を踏査したうえでアクセス性や土砂生産量の多さから榛原川を対象を絞って行った。大規模崩壊地の状況と河床材料の粒度分布と岩質、流入量評価のキーになる河道状況の特徴を調べ、その他現象にかかわる基礎現象や情報把握方法の検討などを行うことで支川土砂流入量評価に重要な粒度分布の評価に必要な知見を得た。</p>		
<p data-bbox="204 1090 523 1124">&lt;事後評価指摘事項&gt;</p> <p data-bbox="204 1158 1390 1312">流入土砂の質に関して、詳細な調査を経て貴重な成果を上げており、難しい課題に対して積極的にチャレンジされていることは、評価できるものの、所期の目的を十分に達成したとは言い難いため、今後において、評価方法の提案まで進められることを期待する。</p>		

※ 評価基準

A：研究目的は達成され、十分な研究成果があった。

B：一定の研究成果があった。

C：研究成果があったとは言い難い。